事故報告書

フルーツ・シャトーよいち

ﾌﾘｶﾞﾅ 本人氏名	●●●●●●● ●●●● 様	男 (女) 98 歳	要介護２	移動	□独歩 □歩行器 ■杖歩行 □車椅子 □その他（ ）
報告者	●●●●●			発生(発見)日時	平成26年12月28日(日) 04:30 分頃
場所	■居室 □ﾎｰﾙ □浴室 □ﾄｲﾚ □拠点ﾌﾛｱ □廊下 □階段 □屋外 □送迎車内 □その他（ ）				
状況	■転倒 □転落 □誤食 □誤嚥 □誤薬 □ﾄﾗﾌﾞﾙ □単独外出 □介護中 □不明 □その他（ ）				

状況

居室様子伺うと、洗面台まえにてズボン・下着を下ろし、椅子に座るところを発見。椅子がずれ、そのまま後ろに尻餅をつく。両足を伸ばした状態で、すとんと床に座り込む形で転倒される。先日も転倒あった事もあり、１５分おき程度で様子を見ていたが、起きた時の物音もせず、発見時すでに下着を下ろしている状況であった。
（３０分前にトイレに起きたため、付添いトイレ済ませている）

〈施設内報告〉
5：30　●●援助係長より援助課長へ、事故状況・本人の状態を報告。
8：00　●●援助係長より施設長へ事故状況・本人の状態・ご家族への謝罪をさせていただいた旨報告。
　　看護師へ事故状況、状態報告。
11：35　●●援助係長より施設長へ、受診結果をご家族に伝え再度謝罪のこと報告。

症状

□無傷 □表皮剥離 □擦過 □切傷 □内出血 □火傷 □腫れ ■変色 □熱感
□その他（ ）　部位：右臀部（下部）

事故時：　１０円玉程度の変色（紫）、圧迫すると痛みある。
同日5：30：痛み強くなり、右足を引きずって歩く状態。
　　8：00：右臀部付近、腰辺りから腫れ出てきている。痛みも変わらずある状態。座っている事はできる。

対応

□様子観察 ■湿布 □冷却 □吐かせる □吸引 □止血 □受診 □その他（ ）

介助にてベッドに座って頂き、部位確認。変色と圧迫すると痛みある様子。湿布貼り、安静にして頂く。椅子は居室から撤去する。

8：00：看護師連絡。患部腫れ顕著にて●●●●●受診となる。
11：30：●●●●●入院となる。

ﾊﾞｲﾀﾙｻｲﾝ	体温	36.6 ℃	血圧	136 ／ 90 mmHg	脈拍	71 回/分	SPO2	%	計測時間	5：00

要因・原因

□見守り不足 □知識・技術不足 □ﾙｰﾙ不遵守 □情報不足 □環境・設備 □設備・点検不足 □人為的問題
■その他（ ）

・認知症状の進行により、椅子をトイレと思い込んでしまった。
・ズボン、下着に手を掛けた状態で椅子に座ろうとした為、椅子が後ろにずれて転倒に至った。
・夜間目を覚まし活動する理由が毎回違い、予測が出来ない。

事故防止対策

・夜間、居室内の椅子（ソファーを除く）を居室から出し、ポータブルトイレを設置する。
・朝方の動きが多い為、４時～７時頃までは１介助ごと、10分おき程度で様子を見る。
・４時頃に排泄声掛けし、また休んで頂く。（寝起きの歩行状態に不安がある為）

ｶﾝﾌｧﾚﾝｽの必要性について　□不要 ■必要

家族への説明

平成26年12月28日(日)	説明方法	□面会 ■電話	説明職員	●●●●●	
家族氏名	●●●様			続柄	長男

7：00　事故状況と状態電話にて伝え、謝罪。痛みが強くなるようであれば受診も検討したい旨伝える・
8：30　腫れと痛みが出てきたことと受診する旨お伝えする。
11：30　受診結果、入院となった事伝え、改めて謝罪。